記号やシンボルの登録とプラン図での配置

文書管理番号：1032-02

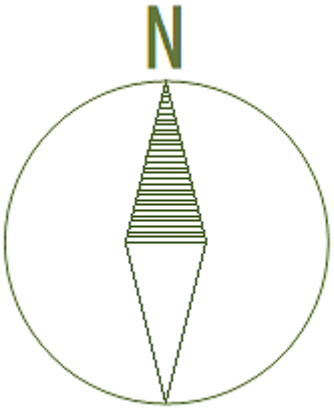
Q.質 問

プラン図で記号やシンボル（方位やコンセントなど）を配置したい。

A.回 答

(プラン図)で配置する「2D シンボル」と「換気扇」、(外構図)で配置する「排水設備」の記号やシンボル形状は、(2D シンボル作成)で作成、登録、管理することができます。

ここでは、下のような方位記号を作成する手順を説明します。



操作手順

- **シンボルの形状作成**

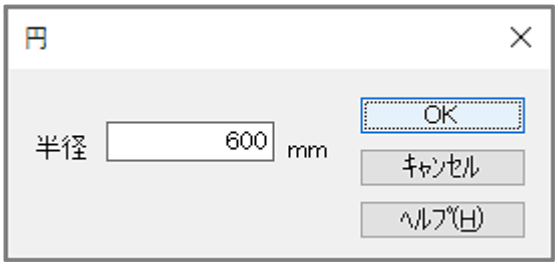
① (クイックメニュー)またはメインメニューから、(2D シンボル作成)をクリック

＊　2D シンボル作成の画面が表示されます。

② (円)をクリック

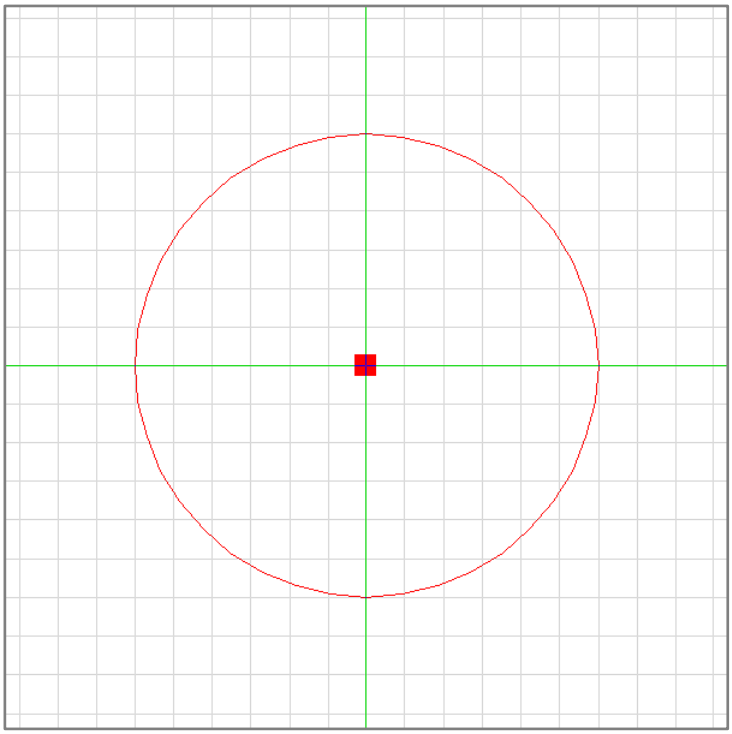
＊　円の半径を指定する画面が表示されます。

③ 半径を「600」mmとして「OK」をクリック



④ ビュー画面上の原点（赤い点）の位置でクリック

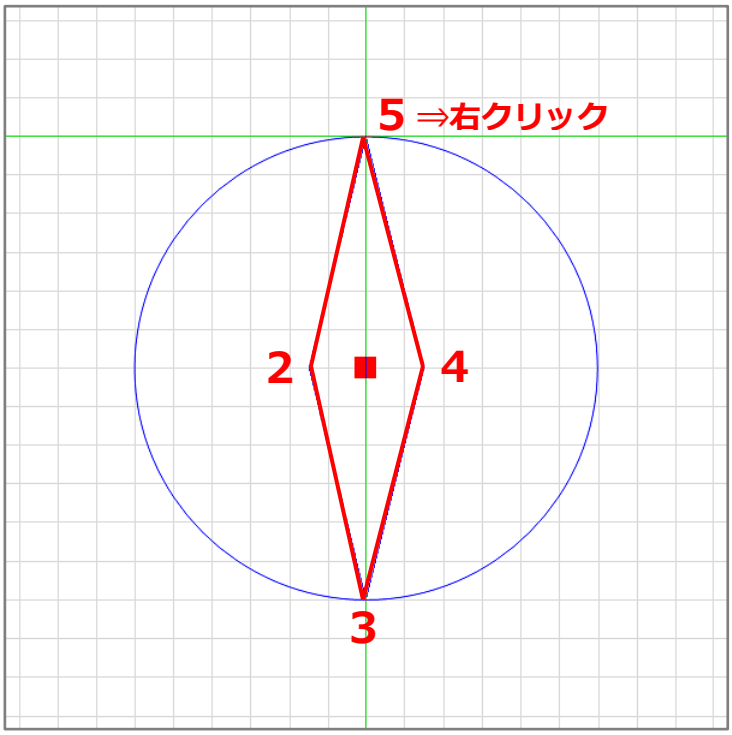
＊ 半径 600mmの円が配置されます。



⑤ (線)の(連続配置)をクリック

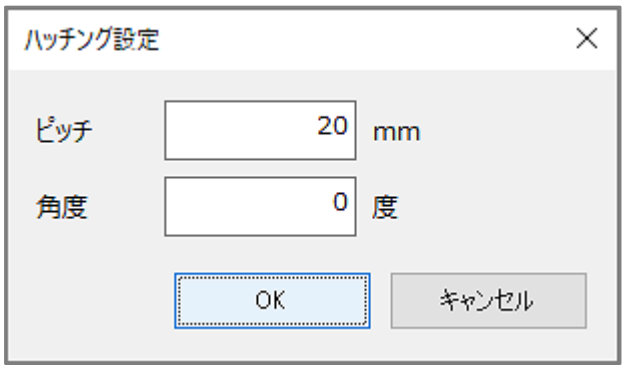
⑥ 図のように円の中に菱形を作成

⑦ スタートポイントに戻ったら、右クリック



⑧ 「設定」⇒「ハッチング設定」をクリック

＊ ハッチング設定の画面が表示されます。

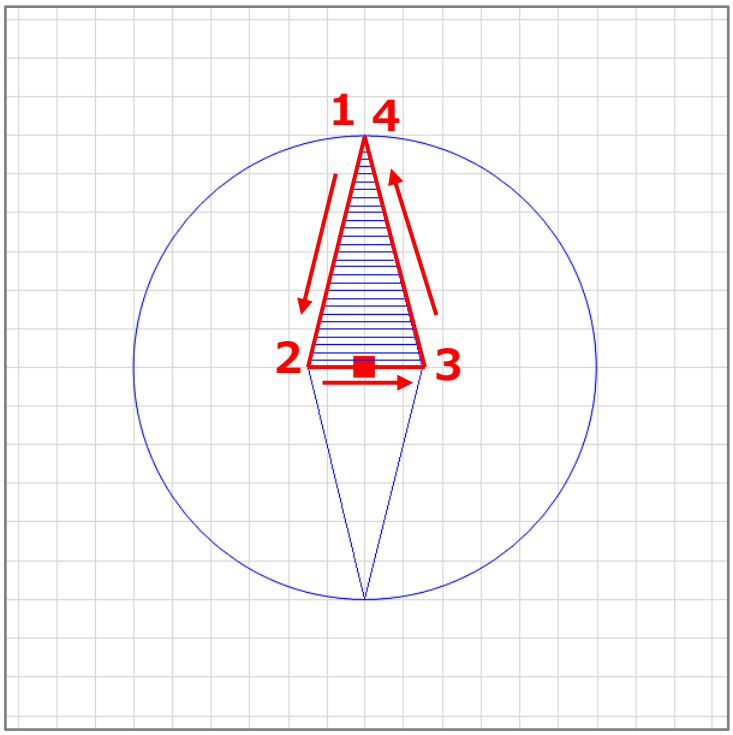


⑨ ピッチを「20」mmに、角度を「0」度に設定し、「OK」をクリック

⑩ (矩形)の (多角配置)をクリックし、 (ハッチング)をクリック

⑪ 図のように菱形の上半分を順に三角形で取り、ハッチングを配置

＊ 菱形の上半分にハッチングが配置されました。



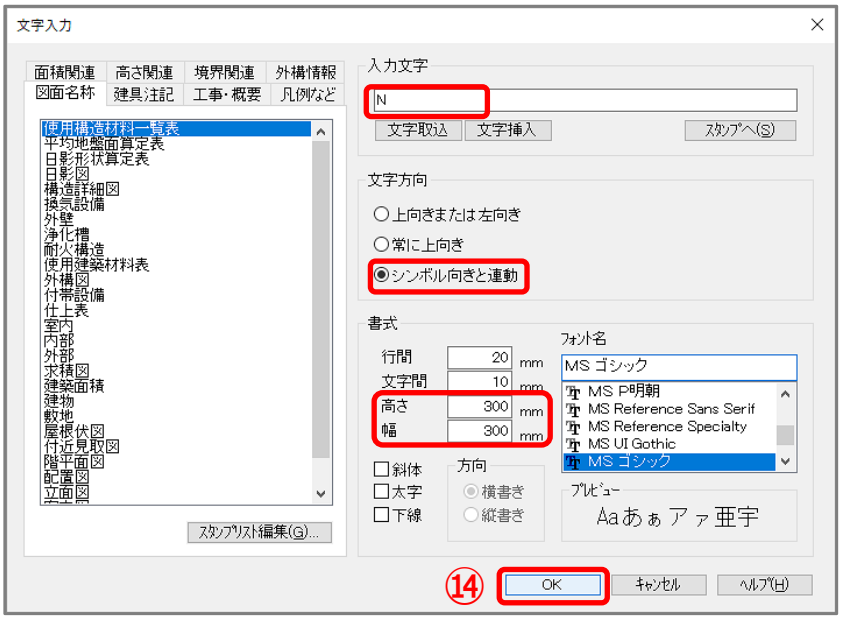
⑫ グリッドの分割数を「4」に変更

＊ 以降の操作で、文字が配置しやすいように、グリッドの分割数を変更します。

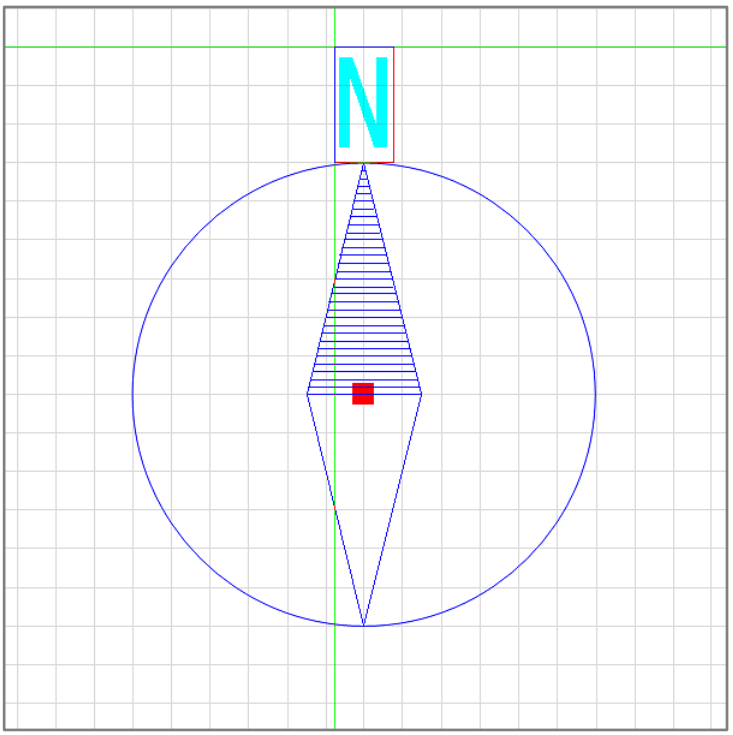
⑬ Aa(文字)をクリック

＊ 文字入力の画面が表示されます。

⑭ 入力文字に「N」、文字方向を「シンボル向きと連動」、書式の高さと幅をそれぞれ「300」mmに設定し「OK」をクリック



⑮　円の上部に文字を配置



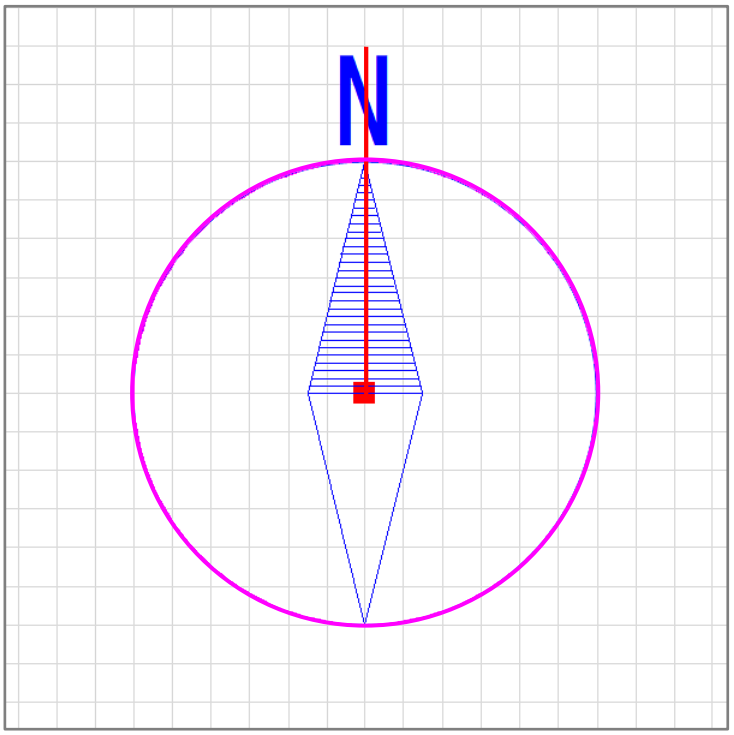
⑯　(外郭自動作成)をクリック

＊　円の形状に合わせて、外郭線（ピンク色）が自動作成されます。

⑰　(配置基準線設定)をクリックし、起点を円の中心（原点位置）に、真上方向に終点を取り配置基準線を入力

＊　配置基準線（赤色）が入力されます。

＊　長さは任意に調整してください。



- **2D シンボルの登録**

①　(名前を付けて保存)をクリック

＊　名前を付けて保存の画面が表示されます。

② 「フォルダー作成」をクリックし、フォルダー名を任意に指定して「OK」をクリック

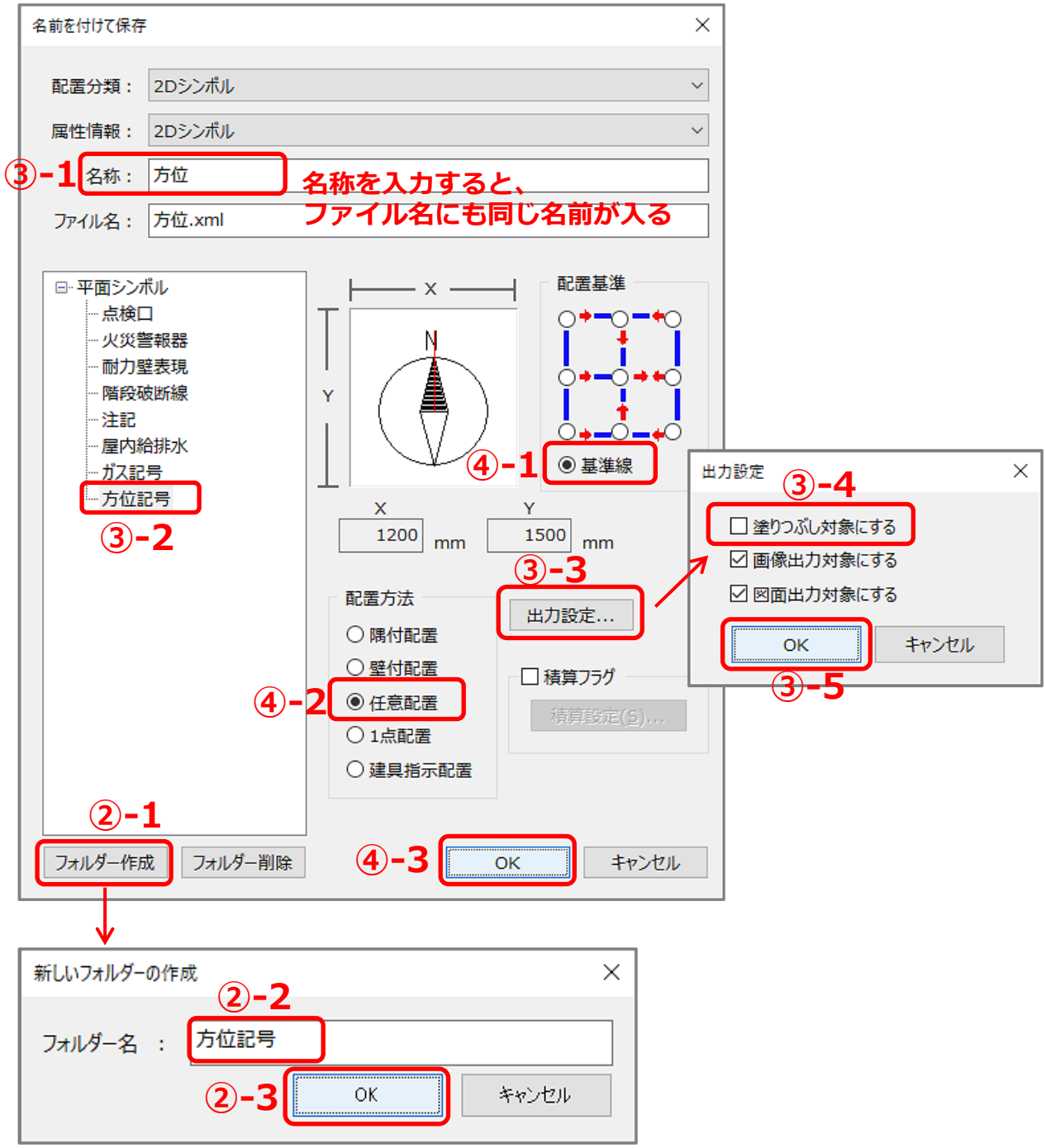
＊ ここではフォルダー名を「方位記号」としています。

＊ 平面シンボルのフォルダーに、作成したフォルダーが追加されます。

③ 名称に「方位」と入力し、作成した「方位記号」フォルダーを選択して、「出力設定」から「塗りつぶし対象にする」のチェックを外し「OK」をクリック

④ 配置基準は「基準線」、配置方法は「任意配置」に設定し、「OK」をクリック

＊ 平面シンボルの「方位記号」に、2D シンボルとして追加されます。



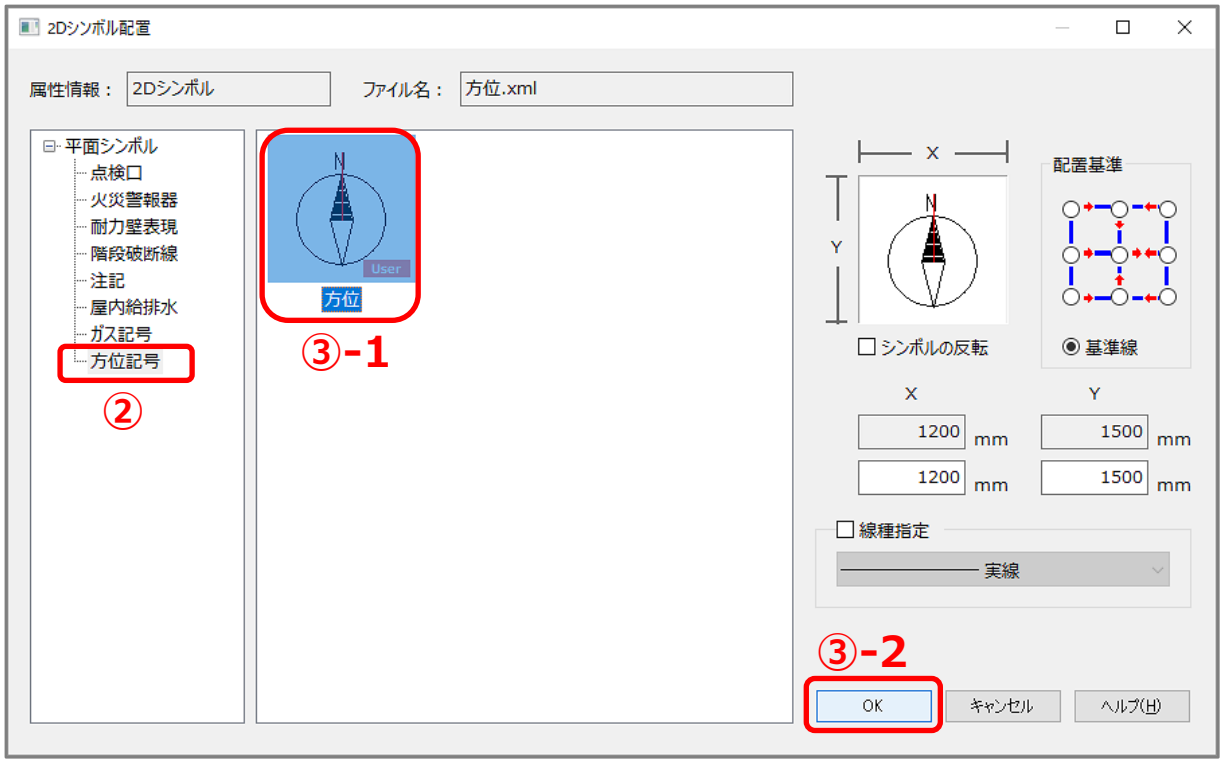
- **登録した 2D シンボルをプラン図で配置**

① ☰(クイックメニュー)またはメインメニューより(プラン図)を開き、(2D シンボル配置)をクリック

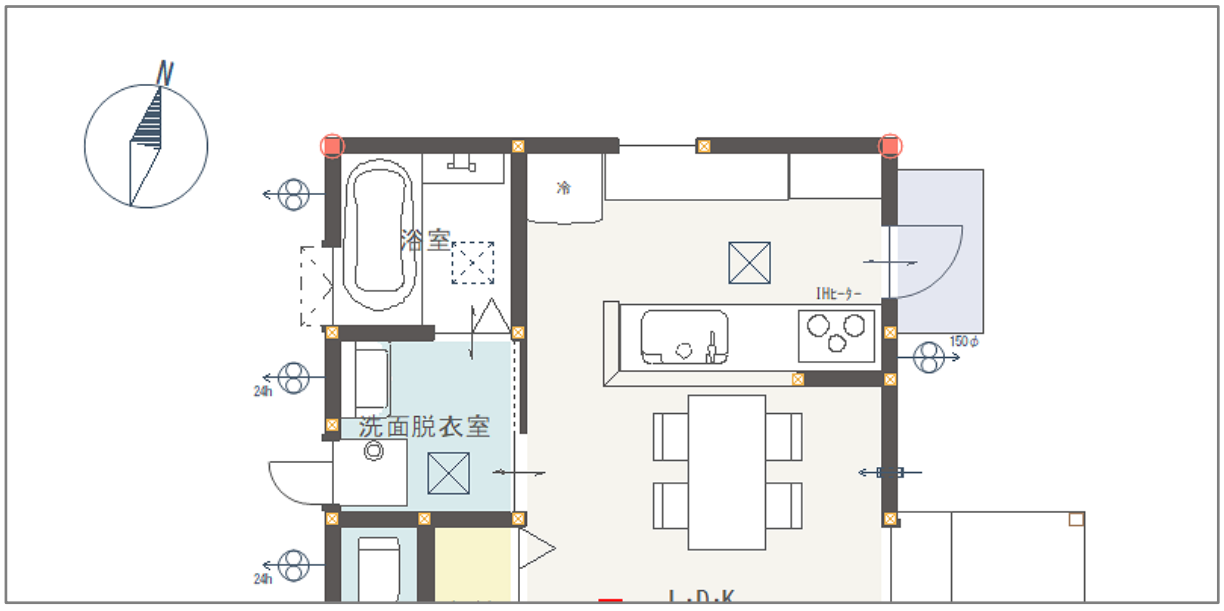
＊　2D シンボル配置の画面が表示されます。

② 左側のツリー表示から「方位記号」をクリック

③ 追加した 2D シンボルの「方位」を選択し、「OK」をクリック



④ 「方位」の 2D シンボルを任意の位置に、向きを決めて配置



参考：他データのインポート

2D シンボル作成では、DXF または JWW データを読み込んで登録することもできます。

① (新規作成)の状態で、(DXF 読込)または(JWW 読込)をクリック

＊ ファイルを開く画面が表示されます。

＊ 「ファイル」⇒「インポート」⇒「DXF 読込」または「JWW 読込」を選択してもかまいません。

② DXF または JWW データの保存先を選択し、読み込みたいファイルを指定し、「開く」をクリック



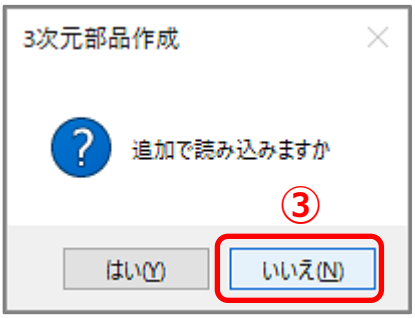
＊ 「追加で読み込みますか」とメッセージが表示されます。

③ 「いいえ」をクリック

＊ はい　：現在編集中の 2D シンボルに、選択したファイルの内容が追加で読み込まれます。

＊ いいえ：現在編集中の 2D シンボルを破棄し、選択したファイルの内容が読み込まれます。

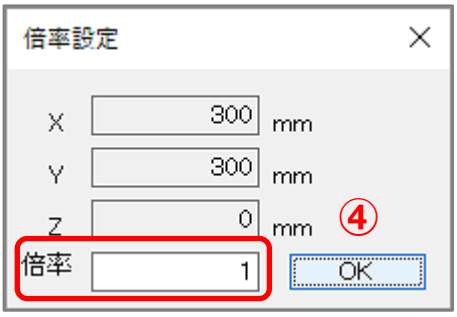
＊ 倍率指定の画面が表示されます。



④ 倍率は「1」のまま「OK」をクリック

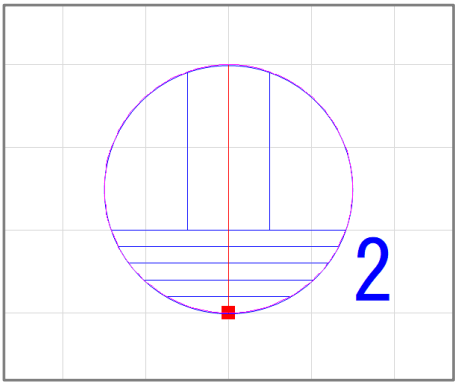
＊ ビュー画面に指定したファイルの内容が読み込まれます。

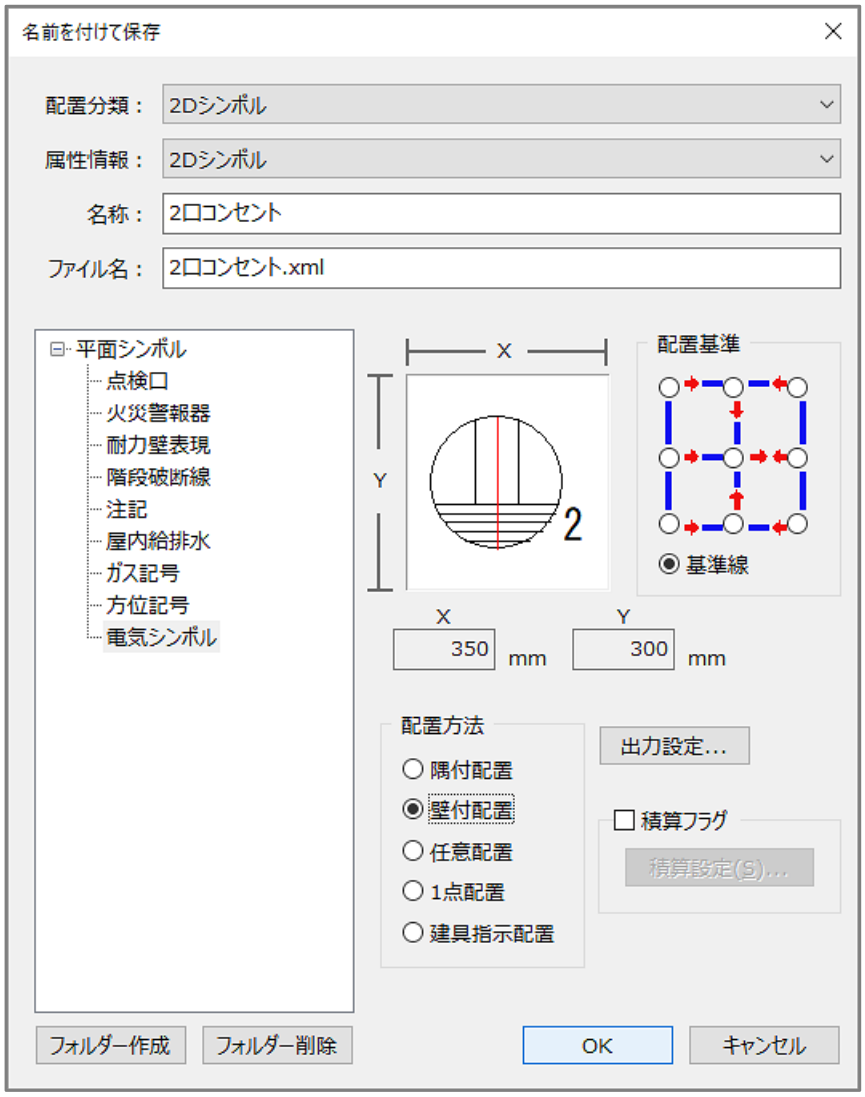
＊ 倍率を変更して読み込みたい場合は、数値を指定してください。



⑤ 加筆修正後、AUTO(外郭自動作成)、(配置基準線設定)を行い、(名前を付けて保存)から登録

＊ 「外郭自動作成」、「配置基準線設定」については、P.4の手順⑯、⑰を、登録方法は P.4、5 の「2D シンボルの登録」を参照してください。





参考：端点検索モード

線・矩形・円・円弧の作図において、[Ctrl]キーを押しながら、[E]キーを押すと、端点検索モードになります。

端点検索モードでは、入力済みの線・矩形・円弧の端点、および円・円弧の円周にカーソルがスナップします。要素の交点は、端点検索モードの対象外です。

端点検索モードは、オングリッドの状態で機能します。

再度[Ctrl]キーを押しながら、[E]キーを押すと、端点検索モードを解除します。